

営農ウィークリーNEWS

野菜栽培ほ場に

ミナミアオカメムシ

が発生しています！

被害の様子



見かけたら防除して下さい！

茄子、オクラなどの野菜栽培ほ場に「ミナミアオカメムシ」の発生が確認されました。

「ミナミアオカメムシ」は、平成22年に府内で初めて発生が確認されてから、年々発生数と被害が増えています。

本種は、他の斑点米カメムシ類に比べて体が大きく吸収量が多いため、小数でも被害が大きくなるので発生に注意が必要です。

「ナス」栽培ほ場で繁殖

8月30日 伏見区にて撮影

加害作物

広食性で水稲、大豆、小麦をはじめ、ナス、トマト、ピーマン等の野菜類、カンキツ、ナシ、モモ等の果樹類など、32科145種の植物に寄生・加害することが知られています。

水稲では穂を吸汁し斑点米を発生させます。



「オクラ」栽培ほ場で繁殖

8月30日 伏見区にて撮影

これから、水稲に被害がおよぶ恐れがあります。現在、水稲に被害が見られなくても野菜圃場に潜んでいる可能性がありますので、直ちにほ場の確認をお願い致します。

発生を確認したら直ちに被害の拡大を防ぐため、防除して下さい。

今回、京都市伏見区管内の組合員様より情報をいただきました。

ありがとうございました。

西南部センター内「祝」登熟期へ—TAC information



西南部経済センター内の「祝」が登熟期を向えました。6月3日に定植し、現在順調に生育しています。今後、10月初旬の刈取りを予定しています♪

JA京都中央 平成28年9月6日 No.309 作成者 島 裕加里